

平成27年市民のためのがん治療の会第4回講演会

がん検診を考える

テーマ：がん検診を考える

日時：平成27年10月23日(金)；15：00～18：30

場所：参議院議員会館 地下1階 B109 会議室

対象：どなたでもご参加いただけます

参加費：無料

定員：78名

申込：議員会館入館証準備の都合がございますので、メール、FAXで10/19(月)までに

Email：com@luck.ocn.ne.jp FAX：042-572-2564

趣旨

高齢化に加え放射性物質の拡散、化学物質の多用により、がん罹患者はますます増加することが確実視されております。二人に一人はがんに罹患すると言われてますが、残念ながら罹患してしまったら、1期で発見されれば局所治療法で治療が望めますが、進行したり、全身化すると、治療は基本的に抗がん剤治療も必要となります。

ところがT P P発効により、ますます抗がん剤が高騰することが確実視される中、早期で発見し、手術又は放射線治療で局所制御できれば患者の身体的、精神的、経済的負担は軽く、健保財政にとっても負担軽減となります。もう、国民総医療費は40兆円、国家予算の半分です。

早期がんで発見するためには、検診を受けることが最も確実だと言われてます。しかし、エビデンスがあるとして、国が推奨する検診で自分の命を守れるのでしょうか？。検診を選定し、受診を徹底することが大事です。検診そのものも本当に「市民のための検診」かどうか、理解しましょう。みなさんが検診を受けるためには、検診が受けやすい条件を整えることが肝要です。

経済的 保険診療、公費負担等、個人負担を可能な限り少なくする

社会的 受診しやすい条件整備(労働条件、受診時間など)

身体的 受診の困難さ、検査時の痛みなどの軽減(検査機器、技術の向上)

制度的 国民病ともいえるがん、結核予防法のような強制力を持った検診制度へ

15：00～15：10 開会挨拶 市民のためのがん治療の会 代表 會田昭一郎

15：10～16：10 「迷走する胃がん検診」 ジャーナリスト 岩澤 倫彦

16：10～17：10 「なぜ、いま、検診か」 北海道がんセンター名誉院長 西尾 正道

17：10～17：20 [休憩]

17：20～18：20 パネルディスカッション

コメンテータ

北海道がんセンター名誉院長 西尾 正道

ジャーナリスト 岩澤 倫彦

18：20～18：30 閉会挨拶 市民のためのがん治療の会

西尾先生には子宮頸がんや肺癌、岩澤さんには胃がんのそれぞれ検診についてを切り口にお話を進めていただきます。下記もご参照ください。

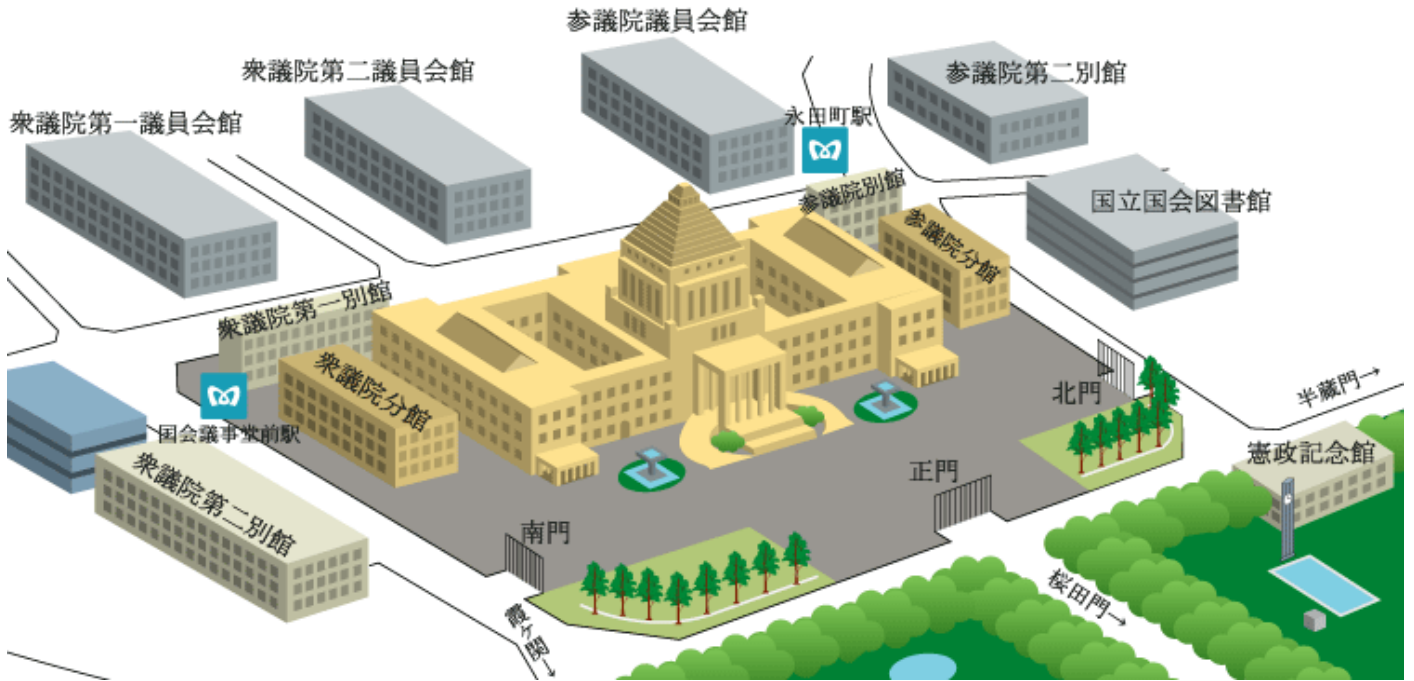
『子宮頸がんワクチン問題を考える 予防接種より検診を！』西尾 正道

http://www.com-info.org/ima/ima_20150721_nishio.html

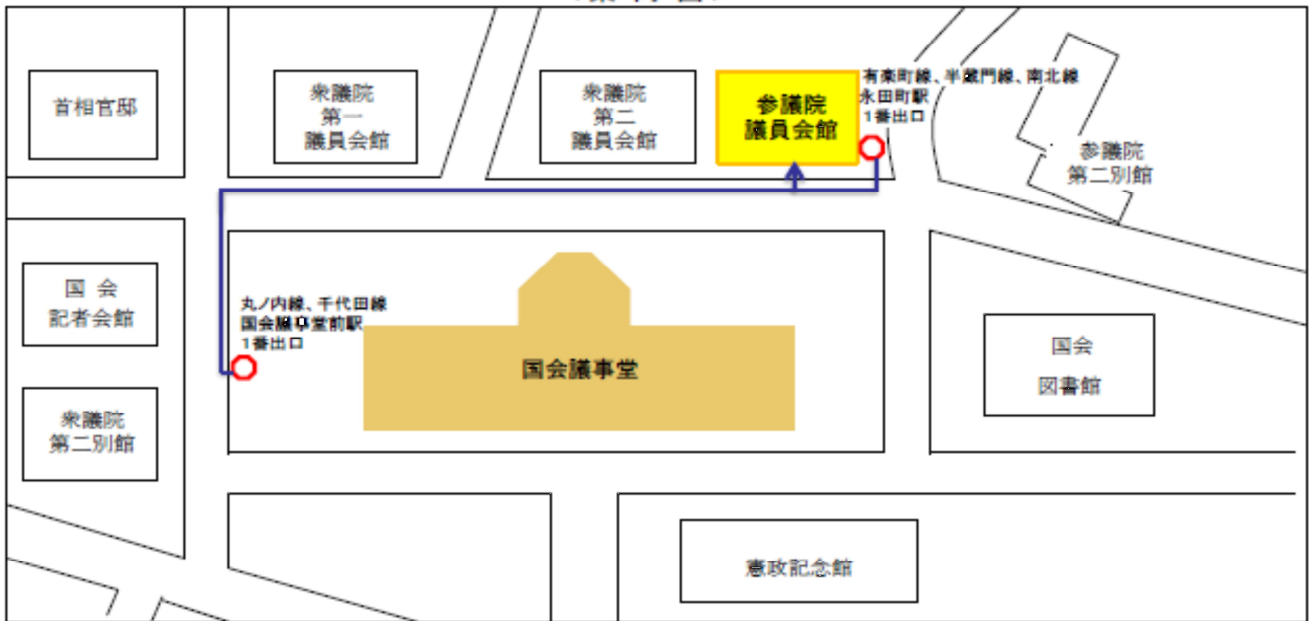
『新・胃がん検診ガイドライン 現場と乖離する"検診ムラ"の論理 前編・後編』 岩澤 倫彦

http://www.com-info.org/ima/ima_20150630_iwasawa.html

国会周辺図



<案内図>



地下鉄有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」1番出口よりすぐ
 地下鉄丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前駅」1番出口より徒歩5分